

《株式会社エフエム東京 第399回放送番組審議会》

1. 開催年月日:平成 25 年6月4日(火)
2. 開催場所 :エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席:委員総数 6 名(社外 6 名 社内 0 名)

◇出席委員(4 名)

横 森 美 奈 子 委員長            渡 辺 貞 夫 委員  
内 館 牧 子 委員                西 田 善 太 委員

◇欠席委員(2 名)

香 山 リ カ 委員                秋 元 康 委員

◇社側出席者(11 名)

富木田 代表取締役社長  
唐 島 専務取締役  
石 井 常務取締役  
黒 坂 常務取締役  
平 取締役 営業局長  
藤 取締役 マルチメディア放送事業本部長  
長 澤 常勤監査役  
村 上 執行役員 編成制作局長  
延 江 編成制作局 ゼネラルプロデューサー  
宮 野 編成制作局 編成制作部長  
植 田 編成制作局 番組プロデューサー(オブザーバー)

◇社側欠席者(0 名)

【事務担当 村上放送番組審議会事務局長】

4. 議題: 番組試聴 (約 20分)

ピートのふしぎなガレージ  
5 月 18 日(土) 17:00~17:50

《議事内容》

議題1:最近の活動について

◎2013 年4月度 聴取率調査結果について

2013 年 4 月の聴取率調査結果が、ビデオリサーチより発表されました。(調査対象期間:4 月 15 日～4 月 21 日)

今回は、メインターゲットである M1F1 層について数字が上昇し、特に土曜、日曜は在京局比較で単独トップとなりました。土曜、日曜は 12～59 歳 個人全体でも徐々に首位を獲得しました。平日については、M1 を伸ばしたものの F1 を伸ばせず、全体では前回同様の数字となりました。特に 4 月に改編を行った平日午後帯の新ワイド番組ゾーンの伸び悩みが大きな課題ではありますが、改編のコンセプト・目的を日々の番組内容に着実に反映させていくことで、数字の上昇をめざせるものと考え、取り組んでおります。

◎TOKYO FM 少年合唱団が「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」に出演

TOKYO FM 少年合唱団は、世界でも希少な、小学生男子のみで構成されている純粋な「少年合唱団」で、1985 年の誕生以来、今年で 29 年目を迎えます。変声期前の少年が持つ独特な高音「ボーイソプラノ」にこだわり続ける合唱団の実力と実績は、日本だけでなく海外でも高く評価され、定期演奏会ははじめ、オペラやコンサート、CD レコーディングやCM、番組出演など、幅広い活動を行っています。

5 月からは、毎週木曜 14:55－15:00 に放送の「SUZUKI HOME SONGS」(童謡番組)の中で、彼らの合唱曲を紹介しています。

また、5 月 3 日(金・祝)には、東京国際フォーラムで行われた音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」に出演。約 1,000 人の観客を前に、音楽祭のテーマ「パリ、至福の時」にちなみ、「クラリネットをこわしちゃった」「アヴィニヨンの橋の上で」「おおシャンゼリゼ」などフランス民謡を中心に 6 曲を披露しました。当日の様子は、後日、毎日新聞(2013 年 5 月 17 日夕刊)でも大きくとりあげられました。



【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

○4月からスタートした、働きながら聴けるという平日午後の新番組はその後いかがでしょうか？

■13 時からの新番組「アポロン」、17 時からの新番組「Skyrocket Company」をやっておりますが、まだ数字にはなかなか結果が表れておりません。

それぞれ、番組コンセプトに添った演出を着実に実行していくことで、結果がついてくると考え、日々やっております。

**議題2: 番組試聴 (約 20 分)**

【番組名】 ピートのふしぎなガレージ  
出演者:宇宙人、新一、ピート(猫)

【放送日時】 2013 年 5 月 18 日(土)  
17:00～17:50

**【番組概要】**

土曜日の 17 時台は、長きにわたり愛された FM を代表する番組「SUNTORY SATURDAY WAITING BAR AVANTI」を今年 3 月まで 21 年間放送してきました。

「AVANTI」では、バーを舞台に、“ユニサー”と呼ばれる趣味人、有識者の話に耳を傾ける演出で、人生が豊かになるウンチクを提供してきました。

この 4 月、新たなパートナーに三菱自動車を迎え、新しい舞台設定のもと、新番組「ピートのふしぎなガレージ」をスタートしました。

家の中でゲームに熱中し、運転免許も持っていない…… そんなインドア志向化する現代の若者たちに向けて、人生を豊かにしていく“アナログな、人との出会い”、“リアルなアウトドア体験への誘い”を、FM ならではの音像演出で構成し、週末夕方にイマジネイティブで新しい発見のある番組を目指します。

物語の舞台は、いつもなにやら物音が聞こえてくる、丘の上の古い洋館のガレージ。そのガレージの主は、ナゾの宇宙人。ひょんなことから、ゲームやネットで育ったインドア派の現代っ子の青年、新一がガレージに迷いこみ、謎の宇宙人に、アウトドアの楽しみ方の手ほどきを受けるようになります。

宇宙人は、場所も時代も自由に行き来できる通称“便利カー”を操り、新一を連れてさまざまな外遊びの歴史やウンチクを探訪していきます。

本日お聴きいただくのは、5 月 18 日(土)放送回のダイジェストです。  
この回のテーマは「サファリパーク」。

“便利カー”に乗りこんだ一行は、動物マニアのアンタッチャブル・柴田英嗣さんひでつぐによるウンチクを聞きに那須サファリパークに寄った後、「サファリ」「パーク」の起源を求めて 19 世紀後半のアフリカ、20 世紀半ばのヨーロッパなどを探訪します。

▼参考)これまでのテーマ

- 第1回(4/6) ルアーフィッシング
- 第2回(4/13) バードウォッチング
- 第3回(4/20) 春スキー
- 第4回(4/27) 趣味の農業
- 第5回(5/4) バーベキュー
- 第6回(5/11) スキューバダイビング
- 第7回(5/18) サファリパーク
- 第8回(5/25) ゴルフ
- 第9回(6/1) パラグライダー

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

○これと非常に似た夢を見たことがあり、よく覚えている。ビルの屋上にあるどこへでも行ける不思議なクルマで、お祭りに行くことを楽しみにしているという夢だった。「魔法のじゅうたん」じゃないが、どこへでも自由自在に飛んで行きたいという欲求は、人間の心の奥底に誰もが持っているのだろう。設定もキャラクターも面白いが、いざ聴くと番組としてはあまり面白くない。原因は「ワクワク感」の不足ではないだろうか。登場人物だけがハイテンションで叫んでいるが、聴いている方についてはついていけない。宇宙人のかっこよさを引き立てるなど、キャラクター付けを明確にしてもいいのではないか。

また、情景の浮かぶ効果音をもっと駆使した臨場感がほしい。サファリパークの画が浮かばない。

これまでのテーマも大袈裟だ。合間にはサイクリングやスケボーなど身近なものや、お祭りや、自分の街の昭和 30 年代にトリップするなどの展開も良いかもしれない。

○全然面白くなかった。時間帯と中身からして、子ども向けなのか大人向けなのかも明確ではない。何かを紹介するという意味では、登場人物が語るのではなく、それぞれのテーマに添った経験者、プロを起用した説明にした方が聴く方にとっても有益だろう。

○面白いものを面白いものとして受け取ってもらいづらい今の時代に、この番組の成否は、リスナーがどこまでこの番組の設定を面白がってくれるかにかかっている。薦めていることは正しく、セリフも練られていて、構成もしっかりしており、提供クレジットも「このお話は～」となっている…といった番組の設定自体にはネガティブ要素はない。

AVANTIと比較すると、AVANTIが断片で聴いていても、短い時間で笑えたり感心できたり楽しめたのに対し、この番組は、歴史をたどり、現場に行き…と続いていく展開

の一本線に乗ってくれるかどうか勝負になっているという印象だ。

個人的には好きだが、リスナーが運転しながら聞いていたら途中でわからなくなるのではないか、最後まで乗っかってもらえるのだろうか、という点は心配だ。

すごい点は、ラジオでないと絶対にできない演出であること。場所も時間も超越する想像の世界。その代わり、聴き手にその仕事をさせる番組でもあると思う。

○AVANTI のターゲットが広がったのに対し、この番組はターゲットを変えたのだなという印象を受けた。

これまでのテーマの中で、「サファリパーク」だけが趣味になりえないキーワードなのに、なぜこの異質な回が試聴対象なのか疑問を感じながら聴いた。

昔は、地球人が宇宙人に何かを教えるお話が多かったが、宇宙人の方が地球のことをよく知っている、という設定は、外国人の方が日本のマニアックなことを知っているのと同じで、時流に乗った面白さだと思った。

期待する部分はあるが、トーンや声のメリハリがないのと、教えてくれようとする気持ちが真面目すぎて、教育番組のようだ。その点、ずっとセリフではなく、本当にそのテーマが好きな人の自然なトークが間に入ったのは好印象だった。若者へ外に出るモチベーションを与えるためには、聴いていてワクワクし、ときめく部分が足りない。興味がなくても、それだったらやってみようかな、と行動を起こさせるためには、エモーショナルな部分を刺激していかないと難しいだろう。

#### 5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

#### 6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

- ① 放送: 番組「JONGLIS RUN GIRLS SUNDAY」  
6月30日(日)6:00～7:30放送
- ② 書面: TOKYO FM サービスセンターに据え置き
- ③ インターネット: TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

#### 7. その他

次回審議会を、7月2日(火)に開催することを決めた。